

投票の方法

①東京都選出議員選挙の投票方法

最初に薄い黄色の投票用紙に、東京都選出議員選挙の候補者名を書いてください。



東京都選出 選挙の投票

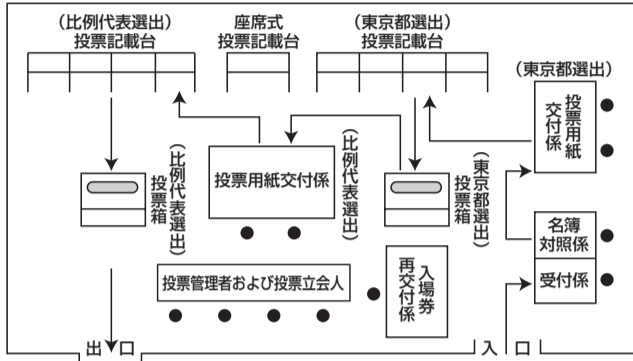
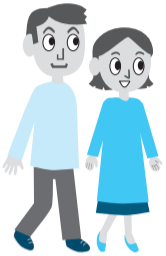
②比例代表選出議員選挙の投票方法

次に白色の投票用紙に、比例代表選出議員選挙の候補者名または政党名を書いてください。



比例代表選出 選挙の投票

投票所案内図 (投票順路)



開票

開票は7月21日(日)の午後9時から、第一体育館(市民センター内)で行います。投票資格のある方は、自由に参観できます。受け付けは、当日会場で行います。

今回の参議院議員選挙から成年被後見人の方の選挙権が回復され、投票できるようになりました。

このような投票は無効になります

●東京都選出議員選挙

①2人以上の候補者名を書いた投票、②候補者名のほか、そのほかのことを書いた投票、③候補者名を自書しない投票(ゴム印などを用いて記載した投票)、④どの候補者に投票したか確認できない投票

●比例代表選出議員選挙

①2人以上の候補者名または2つ以上の政党名を書いた投票、②候補者名または政党名のほか、そのほかのことを書いた投票、③候補者名または政党名を自書しない投票(ゴム印などを用いて記載した投票)、④どの候補者または政党に投票したか確認できない投票

代理投票・点字投票

心身の状態などにより自ら投票用紙に書くことができない方は「代理投票」が、目が不自由な方は「点字投票」が利用できますので、投票所の係員へお申し出ください。

車いす・老眼鏡

投票所には、車いすや老眼鏡を用意しています。必要な方は、投票所の係員へお申し出ください。



あなたの投票所を確認しましょう

投票日当日は、指定された投票所以外では投票できません。投票所入場整理券に記載された投票所を確認してください。

ホームページをご覧ください

市ホームページでは、参議院議員選挙のお知らせを掲載しています。また、開票速報は東京都選挙管理委員会ホームページ [HP](http://www.senkyo.metro.tokyo.jp/) <http://www.senkyo.metro.tokyo.jp/> からご覧いただけます。

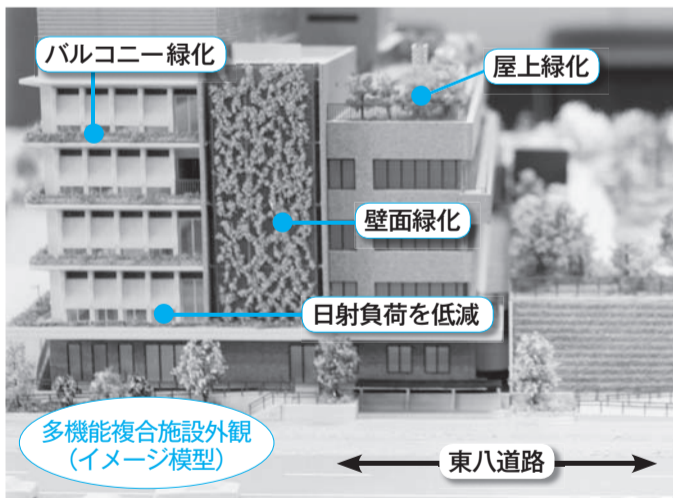
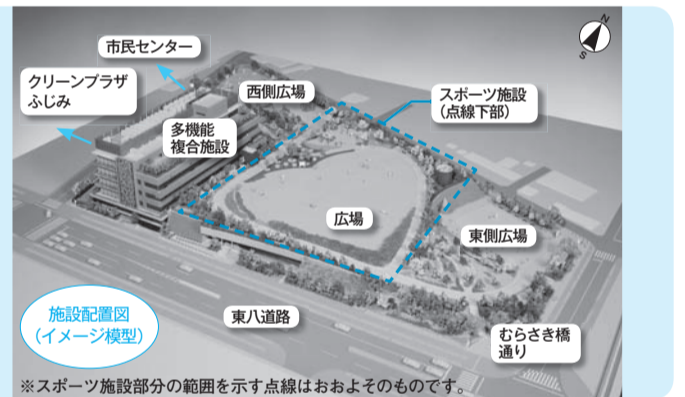
新川防災公園 多機能複合施設 (仮称) 整備事業

市では、持続可能な都市(サステナブル都市)の実現に向けた取り組みを推進しています。今号では、平成28年度に完成予定の新施設における環境に配慮した取り組みを紹介します。

問 都市再生推進本部事務局 ☎内線2052

事業概要

市民のみなさんの安全安心と市民サービスの向上を図るため、市役所東側の東京多摩青果(株)三鷹市場跡地(新川6丁目)を中心とした約2.0haに、防災公園として災害時の一時避難場所となる公園施設とその下部にスポーツ施設を整備するとともに、老朽化し耐震性に課題のある6つの公共施設などを集約化し、防災センター機能を加えた多機能複合施設を一体的に整備します。また、防災機能の向上のため、敷地北側の市道を拡幅し、周辺道路の無電柱化を実施します。事業の推進に当たっては、独立行政法人都市再生機構の防災公園街区整備事業として国庫補助金を活用するなど財政負担の軽減を図り、早急な整備を目指します。



新施設は、環境負荷の低減や省エネルギーなど、環境に配慮した施設として整備します。新施設の西側に隣接し、4月より本格稼働している、ふじみ衛生組合の可燃ごみ処理施設「クリーンプラザふじみ」では、ごみ処理の過程で電力や低温水が発生します。新施設では、再生エネルギーの有効利用としてこの電力や低温水の供給を受け、施設内の電気や暖房、給湯などの熱源として活用します。

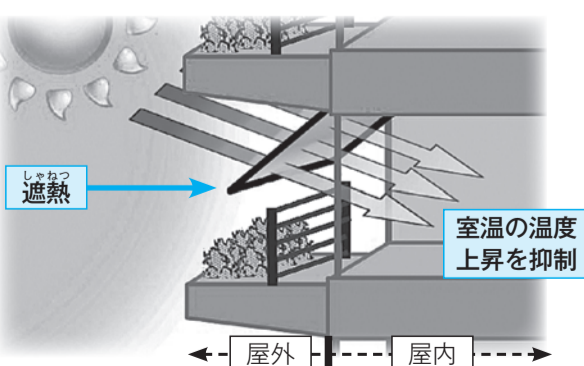
そして、このエネルギーを効率的に利用するため、高効率の空調機器を導入します。また、多機能複合施設の屋上や壁面、バルコニーを緑化し、窓や壁の断熱化とともに、西日の日射負荷を低減する設備(※1)を設けるなど、施設への熱負荷を下げることで適正な温度設定による空調機器の運用を行います。さらに、BEMS(ベムス)(※2)を導入し、エネルギー需要を最適に管理します。

これらの取り組みに加え、公園の緑がCO₂を吸収するとともに、屋上雨水やプールの排水をトイレの洗浄水に活用していくなど、環境に配慮した施設づくりによって光熱水費の削減を図り、施設の効率的な管理運営にもつなげていきます。

※1…日射負荷を低減する設備

遮熱効果がある設備をバルコニーに設置することで、採光は確保しながら、日射負荷の低減を図り、室内の過度の温度上昇を抑制することができます。これにより、空調が効率的に運用され、ランニングコストの削減につながります。

多機能複合施設西側断面イメージ



※2…BEMS(ベムス)

「ビルエネルギー管理システム」の英訳の略語で、情報技術を活用してビルなどの建物のエネルギーを管理するシステム。各施設のエネルギー使用状況の把握、そのピーク予測などにより、空調や照明などのエネルギー使用機器を制御することで、施設の節電・省エネルギーなどを実現します。環境に配慮しながら、ランニングコストの削減を実現する取り組みの一つです。

BEMS(ベムス)イメージ

